

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	福岡県京都郡苅田町立馬場小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	職員数
学級数	1	1	1	1	2	1	1	8	15
児童数	31	27	35	26	45	33	2	199	

研究の概要

1. 研究主題

**ことばで伝え合う力を育む学習指導の工夫**  
 ~国語科の「話すこと・聞くこと」の指導を基盤にした取り組み~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

**1~6年 国語科(「話すこと・聞くこと」の領域の学習を基盤に)**  
 これまでの環境教育・総合的な学習の時間の研究実践の中で、子どものコミュニケーション能力や論理的思考力を高めて行く必要を強く感じたため、国語科学習(話すこと・聞くことの領域)を基盤にし、表現力や理解力を育成していく。

**4年 社会科**  
 社会科における問題解決能力を育成することの必要があるため、地域の社会的事象に目を向けた教材を開発し、子どもの事実を調査・観察する力や自己との関係を考える力を育成していく。

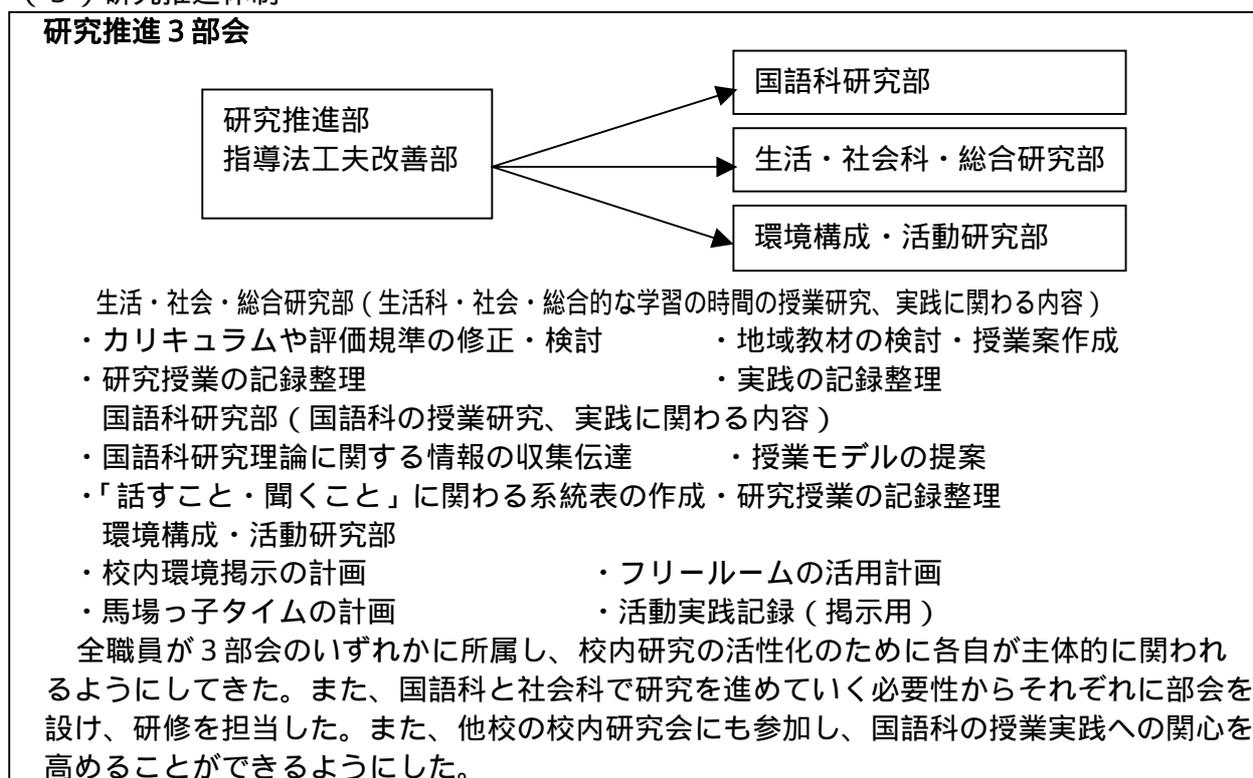
(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p><b>テーマ：ことばで伝え合う力を育む学習指導の工夫</b>                  ~国語科の「話すこと・聞くこと」の指導を基盤にした取り組み~</p> <p>研究の見通し(仮説)                  国語科「話すこと・聞くこと」の領域における各学年の指導内容の系統や評価規準を明確にし、子どもの言語意識を重視した単元構成や指導体制の工夫を行ったり、社会科・生活科・総合的な学習の時間において、国語科との内容の関連を重視した学習を展開したりすれば、子ども達の表現力・理解力が高まり豊かな言語感覚のもと、ことばで伝え合おうとする力が向上するであろう。</p> <p>研究の内容・方法                  (内容)                  ・国語科「話すこと・聞くこと」の領域における単元構成の工夫のあり方                  ・国語科における少人数学習など個に応じた指導方法の工夫改善                  ・社会科における地域教材の開発とその指導のあり方                  (方法)                  ・仮説に基づいた全員授業研究及び実践交流会での実践発表・授業公開・協議会の開催                  ・先進校への研究発表会への参加や講師の招聘</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p><b>テーマ：ことばで伝え合う力を育む学習指導の工夫</b>                  研究の見通し(仮説)                  国語科・生活科・総合的な学習の時間・社会科を関連させたカリキュラムを工夫し、国語科・社会科において少人数学習など個に応じた指導方法の工夫を取り入れた学習を展開すれば、子ども達に表現力・理解力が身につく、豊かな言語感覚のもと、ことばで伝え合おうとする力が向上するであろう。</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>研究の内容・方法</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科・生活科・総合的な学習の時間・社会科を関連させたカリキュラムの作成</li> <li>・国語科における少人数学習など個に応じた指導方法の工夫改善</li> <li>・社会科における地域教材の開発と少人数学習を取り入れた指導方法のあり方</li> </ul> <p>(方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮説に基づいた全員授業研究及び実践交流会での実践発表・授業公開・協議会の開催</li> <li>・ 先進校の研究発表会への参加や講師の招聘による校内研究の活性化</li> <li>・ 他校との研究交流</li> </ul>
----------------	--

### (3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

##### 国語 検査平均点

##### 2003年7月 本校2～6年生対象に実施 CRT（観点別到達度学力検査より）

- ・総合得点を全国平均と比較すると、全校平均はほぼ同じレベルである。
- ・国語科に対する関心は全校的に高い。
- ・各領域とも低学年は全国平均を上回っているものの高学年になるにつれ、全国平均に到達しない領域がでてきている。

子どもの国語科に対する関心の高さはこれまでの教材の開発や指導方法の工夫の成果の表れといえる。

「話すこと・聞くこと」の領域の指導目標一覧表を作成する中で、各学年で目指す段階を明らかにするという新たな課題が生まれ、そのことを併記した一覧表へと改善された。

授業公開を通して「話すこと・聞くこと」の授業における具体的な指導事項が明らかになってきている。それをもとに学習過程モデルを作成した。

## 2. 今後の課題

- ・各学年の検査結果を3段階で診断すると国語科全体では13パーセント、各領域において10パーセント前後の子どもが、目標に到達できていない「支援を必要とする段階」である。
- ・「話すこと・聞くこと」の領域においては、他の領域に比べ、平均得点が比較的高い数値を上げているものの、やはり高学年になるにつれて全国平均を下回っている。  
国語科における基礎基本の力の確実な定着を図る指導・評価項目の改善の必要がある。  
習熟度や課題別など個に応じた少人数学習のあり方を究明する。  
社会科学習の地域教材のさらなる開発とその指導方法についての研修を行う。  
指導と評価の一体化を図る評価方法の工夫の方策を試みる。

### 学力等把握のための学校としての取組

本年度は、児童の学力の実態を客観的に知り、研究方向性の判断資料とするために、2～6年生を対象に前学年の学習内容で学力検査（教研式 観点別到達度学力検査 国・算 7月実施）を行った。

来年度は、本年度研究実践の進捗状況を客観的データとして収集していくために同内容の学力検査を実施予定である。（町教育委員会に予算要求を行っている）

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

1年次 学力向上フロンティア実践交流会 平成16年2月4日（水）

教育事務所管内の全学校及び福岡県内のフロンティア実践校に12月段階で案内状を送付し、研究参加を呼びかけた。1月末には、2次案内として協議の呼びかけを再度行った。交流会当日は、1年間の実践を研究紀要として実践記録や目標一覧表などをファイルにまとめ配布した。

フロンティアティーチャーの活動実績

管内の指導方法工夫改善担当者研修会で、実践発表者として、フロンティア実践校としての研究の成果と実践の紹介を行う予定である。

日時：平成16年2月18日（木）14：00～

場所：福岡県教育庁京築教育事務所

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |   |  |                               |                             |
|----------------------|---|--|-------------------------------|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】            | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度から新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校          |                               |                             |
| 【学校規模】               | <input type="checkbox"/> 6学級以下                | <input checked="" type="checkbox"/> 7～12学級   |                               |                             |
|                      | <input type="checkbox"/> 13～18学級              | <input type="checkbox"/> 19～24学級             |                               |                             |
|                      | <input type="checkbox"/> 25学級以上               |  |                               |                             |
| 【指導体制】               | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導     | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 |                               |                             |
|                      | <input type="checkbox"/> 一部教科担任制              | <input type="checkbox"/> その他                 |                               |                             |
| 【研究教科】               | <input checked="" type="checkbox"/> 国語        | <input checked="" type="checkbox"/> 社会       | <input type="checkbox"/> 算数   | <input type="checkbox"/> 理科 |
|                      | <input type="checkbox"/> 生活                   | <input type="checkbox"/> 音楽                  | <input type="checkbox"/> 図画工作 | <input type="checkbox"/> 家庭 |
|                      | <input type="checkbox"/> 体育                   | <input type="checkbox"/> その他                 |                               |                             |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有         | <input type="checkbox"/> 無                   |                               |                             |